

虐待防止・チェックリスト研修

神明福祉園では、厚労省からの最新版「障がい者の虐待防止と対応の手引き」に基づいて、内容の再確認と新たに追加された内容を学ぶ事で日々の支援の中での関わり方等について振り返りを行っています。

また、欠席になった職員がいても、後日、研修の内容を共有していく事で全職員が同じ方向を見ながら支援を提供できるようにしています。

制度の改正や時代背景などによって捉え方は様変わりしますが、職員一人ひとりが変化を柔軟に捉えて行動に移していく事がとても重要だと考えています。

新たに学び直した事、再確認した事、それを実行していく事で、障がい者支援のサービス向上に繋がっていくと考えています。(記：熊田)



あいのわ福祉会ではInstagramやXで施設での様子を投稿しています。ぜひご覧ください♪



お知らせ ~information~

★内部研修

10月29日(火) リスクマネジメント研修

★その他

10月30日(金) 避難訓練

10月31日(木) インフルエンザ予防接種

12月13日(水) 福祉園全体連絡会



※広報誌における写真や記事は、個人情報保護法に基づき、ご本人、およびご家族の同意の上で掲載しています。

(広報担当：山本・齋藤・船山・宮路)

統括主任から



日頃より、神明福祉園の運営にご理解ご協力いただきありがとうございます。年末までは残り3か月を切りました。暑い夏でしたが、今年も無事に秋が訪れ、“あたりまえ”としていることのありがたみを感じているところです。

さて、本年度福祉園では「ジョブキャンプ」という高校生の職業体験事業の受け入れ企業として登録し、7月下旬に区内や近隣区の高校から4名を受け入れました。高校生の職業観の醸成に寄与することなどを目的に、東京都が民間企業に委託して行われる事業です。福祉・保育実習生や介護等体験生の受け入れは毎年行っていますが、高校生以下の職場体験は、この数年では初めての試みです。一人でも多くの方に当法人施設や福祉の仕事を知って頂くこと、利用者の皆さまにとっても施設関係以外の方と接する機会になることから受け入れを決めました。

実際受け入れた2日間は、利用者の皆さま・高校生の4人ともに笑顔や会話を楽しまれ、活動や余暇時間を共に過ごして頂きました。利用者の皆さまにも助けて頂き、無事に受け入れ企業としての役割も果たすことが出来たと感じています。

職場体験生に職場体験を選んだ理由を尋ねると「将来保育士を目指しており保育実習で福祉施設の実習もあると聞いて選んだ」「福祉関係の仕事があると親から言われて選んだ」「自分の希望では選ばないような職種を…と考えて選んだ」など様々でした。利用者の皆さまとの関わりでの体験や、この仕事の楽しさ・やりがい等を伝え「想像と違って楽しそうな仕事だと感じた」「福祉の仕事に興味がわきました」等、感想で話していたのが印象的でした。

30周年記念式典の際にも強く感じましたが、法人設立前から沢山の皆さまのご支援・関係が絶えず続いて広がり、今があります。法人理念の『わ』に込められた”輪を広げ、住みよい環境づくりを進めます”も胸に、これから先も人のつながりを絶やさず、できることをしっかり行っていきたくと思います。(記：阿部)



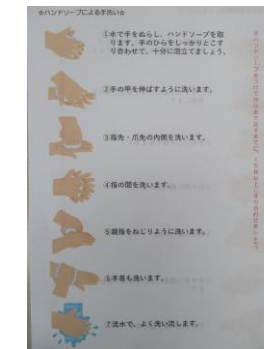
手洗い研修



神明福祉園では感染症対策として、①防護服着脱訓練②ゾーニング対応訓練③手洗い研修④嘔吐物処理訓練を繰り返し行っています。

年間を通して様々な感染症が発生する昨今ですが、なかでも「手洗い」は細菌やウイルスなどからご利用者の方や自らを守る為に重要な行為となります。正しい手洗いが身につくまで職員は手洗いチェッカーと看護から『ダメ出し』されるのですが、今年はずいぶん減ってきているように感じました。繰り返しの大切さを痛感しています。ちなみに手洗いチェッカーを使って研修を行う施設も多くなりましたが、あいのわ福祉会でいち早く導入したのは神明障がい福祉施設です。目に見える形で自分の手技が確認できるので他の研修にも活用しています。

手洗いだけではなく、ご利用者様に安心して過ごして頂けるよう引き続き感染対策を徹底してまいります。(記：小林)





クラブ活動



今年度のクラブ活動は前年度同様音楽を楽しむ「かなで〜る」と、体を使って楽しむ「うごけ〜る」の2つに分かれて活動しています。

かなで〜るでは、新たに太鼓のテレビゲームを導入した事もあり、希望する利用者の方が多くいらっしゃいました。大きなテレビ画面に映し出されたゲームセンターさながらの映像と音楽に演奏が待ちきれない様子でパチを手になされ、笑顔で太鼓を叩き演奏を楽しむ様子が見られました。

うごけ〜るではサッカーゴールを使用しPK 対決を行いました。自身の蹴ったボールがゴールネットを揺らすと周りからの歓声や拍手に嬉しそうな表情が見られました。この他にも、テレビゲームでチャンバラ対決も行う予定です。

今後も利用者の皆様のわくわくするような楽しい活動を考え提供していきたいと思えます。(記：石井)



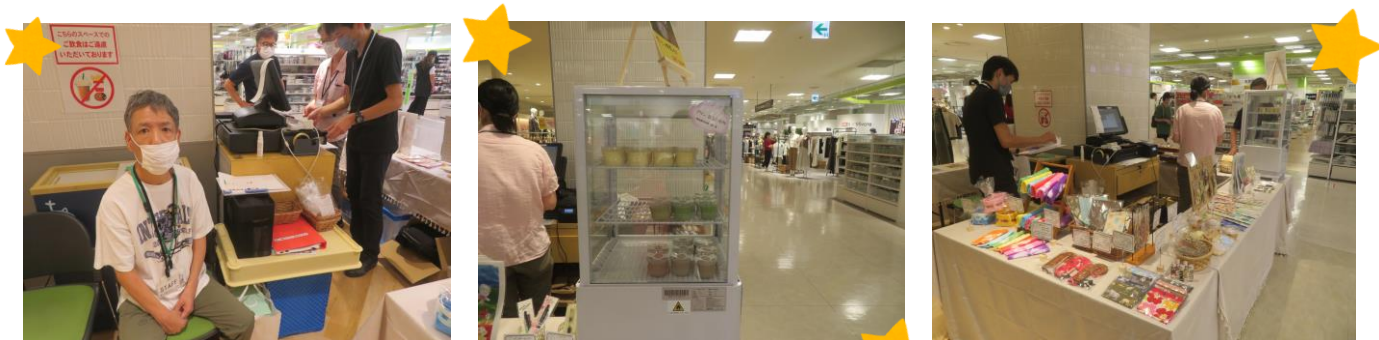
マルイ出店販売

8月27日(火) マルイ北千住店4階にて、あいのわ福祉会の各施設で作っている自主生産品の販売を行いました。

台風が近づいている事もあってお客様が足を運んで頂けるのか心配でしたが、利用者の方のご家族や関係者の方、また隣に100円ショップが入っていた事もあり見に来てくれる方も沢山いらっしゃいました。

参加した利用者の方も初めて店頭に立ったり、購入してくれた品物をお客様に渡したりと緊張した表情を浮かべながらもしっかりと役割を果たしてくれて、良い経験が出来たのではないかと思います。

色々な商品の中でも、プリンやコーヒーなど一般のお客様にも手に取りやすい商品が売れゆきとしては良かったように感じました。他にも、自主生産品の数々やカフェを運営している施設もありますので、是非一度 SNS など覗いて頂けると幸いです。(記：生田)



地域交流会



8月2日(金)に神明障がい福祉施設を知ってもらうことを目的に5年ぶりに地域交流会「つくる!あそぶ!たのしむ! 神明☆2024」を開催しました。

近隣の小学校や自治会等にご協力頂き、ポスターやチラシを配布しました。当日は谷中中学校のボランティア部の生徒さんお手伝いに来て下さいました。5年ぶりの地域交流会、お客様がいらっしゃるか心配しましたが、そんな心配もどこへやら、たくさんのお客様が来てくださり大賑わい!

工作ブースではアクリル扇子に楽しそうに絵を描く様子が見られ、完成すると嬉しそうに出来た扇子をパタパタと扇いでいらっしゃいました。無料でお配りしたかき氷や飲み物を楽しみつつ、TV ゲーム(チャンバラ)ブースでは、対戦相手のお友達や兄弟に勝とうと一生懸命にコントローラーを振る様子や白熱した戦いが繰り広げられていました。

お子様に感想を聞くと「楽しかったです。ありがとうございました!」と言葉を頂き、交流会を開催して良かったと嬉しく思いました。

これからも地域の方と協力・助け合いながら、地域で利用者の皆様が安心して生活をする為にも、たくさんの方に神明障がい福祉施設を知ってもらえるよう活動してまいります。(記：柳川)

